



グローバル気候変動政策リーダー 育成プログラム

一般社団法人 Glocal Solutions from Classroom (GSC)

代表 プロフィール



代表：今泉沙織

- 東京出身、ワシントンDC在住。
世界と日本をつなぐ視点から教育・人材育成に取り組む。
- 世界銀行 教育専門官（13年）
アフリカ・南アジアの教育改革・人材育成に従事
- ポケモンUS本社にて企業戦略
- 一般社団法人GSC創業 | 国際協働×人材育成
- 東京大学・大学院等で講義（約100名以上）
- TOMODACHI Women's Leadership メンター
- 現在：世界銀行コンサル（イラク・大学改革）

事業への思い

幼少期の国際支援の経験から、機会格差の問題意識を持つ。
世界銀行で13年、教育政策に従事し、制度の限界も実感。
GSCを通し、世界と直接つながり、共創を通じて社会課題に挑む経験を提供
することで、一人ひとりの行動を引き出す教育を実装している。

ビジョン



国境や立場を越えて人々が共創し、
一人ひとりが社会課題の解決に主体的に関わる世界を実現する。

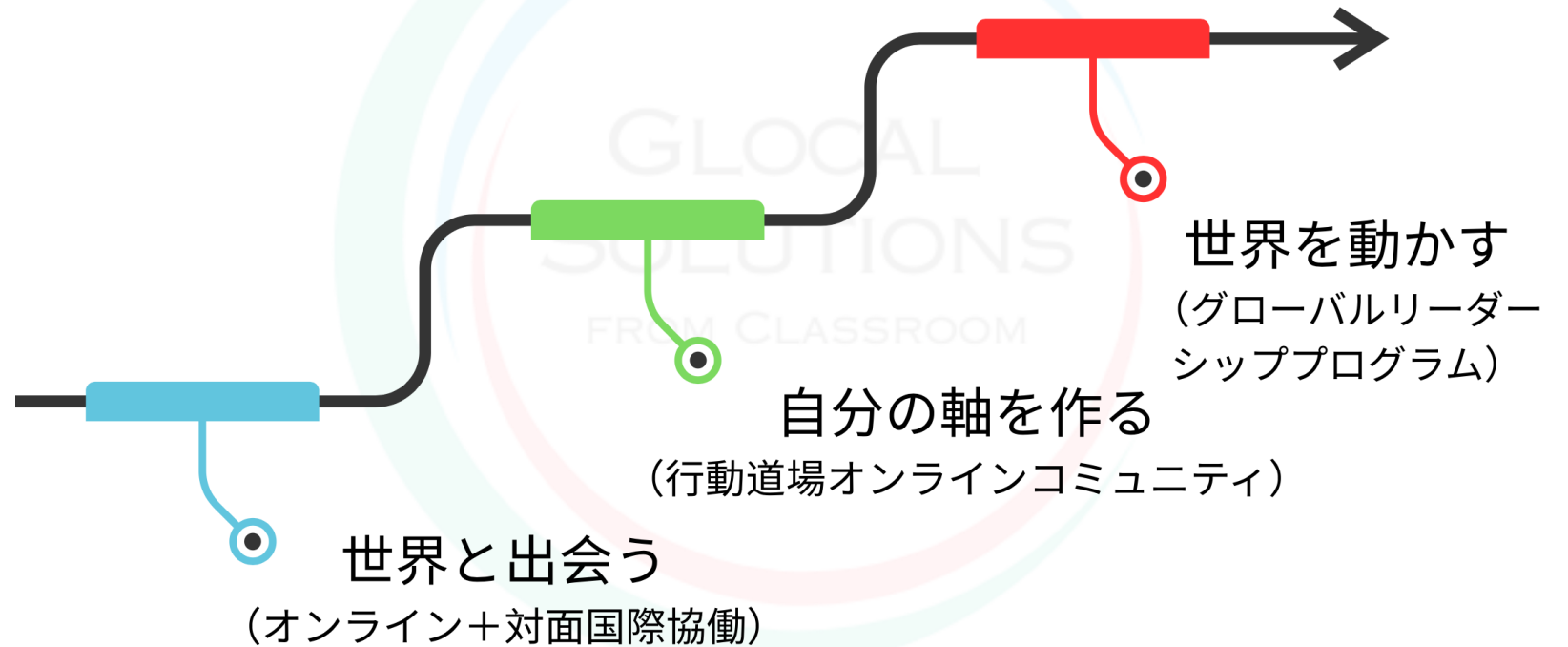
世界と繋がり行動する人材を育成

自己理解・国際協働・社会実装を通じて、
関心を行動に変え、社会にインパクトを生み出す人材を育成する。

ミッション

事業内容

GSCの教育モデル



- ① 国際協働
- ② 自己理解
- ③ リーダーシップ・政策教育 → **本プログラムの中心**
- ④ 継続学習・コミュニティ

プログラム 内容

①世界と出会う

オンライン+対面国際協働学習

- 世界を知る：シティツアー
- 世界と考える：探究発表x世界視点
- 世界と作る：3Dプリンタでものづくり



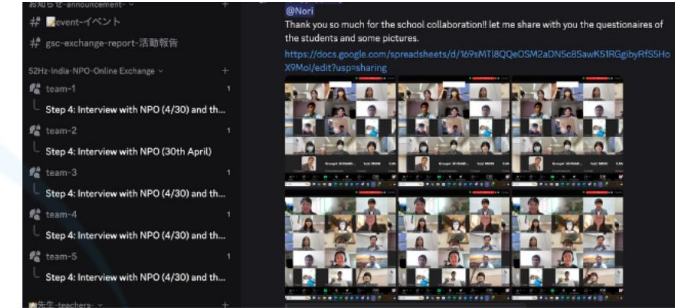
プログラム 内容



②自分の軸を作る

行動道場コミュニティ

- 自分の「好き」と「得意」を活かして世界まで可能性を伸ばすための行動支援＋仲間作りオンラインコミュニティ（Discordで運用）
- プログラム
 - 自己理解
 - キャリアロードマップ作り
 - 世界で活躍する人との対談
 - メンタリング・行動支援



プログラム 内容



③世界を動かす

グローバルリーダーシッププログラム

同世代の国際社会で活躍する
リーダーと出会い、

- 社会課題の理解
 - 社会へのアクションの取り方
 - 行動力・発信力・協働型リーダーシップ
- などを同世代の視点から学びます。



初年度は15歳のコロンビア出身
環境活動家のフランシスコ・ベラ

プログラム概要

若者が社会課題に主体的に関わる力を育成

- 国際視点で社会課題を学ぶ
- ロールモデルとの対話
- 政策提言の作成
- 社会実装への接続
- 継続的に行動するためのオンラインコミュニティ

解決したい 社会課題と アプローチ

課題

- 社会課題に関心はあるが仲間がいないなどで行動につながらない
- 高校生の7割が進路選択で親の影響を受けるため進路選択の視野が狭い
- 若者の自己効力感が低く、自分が社会に影響を与えられと感じにくい

解決策

- 国際協働による視点の拡張
- 社会課題解決におけるステークホルダーの視点の提供
- ロールモデルとの対話
- 政策提言・社会実装機会の提供
- 継続コミュニティによる行動支援

気候変動 プログラム 概要

自己理解（初期）

政策リーダーシップ
プログラム

自己理解（深化）

政策スタディツアー

継続行動コミュニティ

期間：1ヶ月（毎週セッションあり）

- 対面セッション2回（場所：東京）
課題理解（海外の学生と対面にて実施）
政策発表（日本国内の自治体・政府・企業へ）
- 動画セッション：
課題構造理解
- オンラインライブセッション：
自己理解（初期）
政策づくり
オフィスアワー

期間：1ヶ月

- 動画セッション：
自己理解ワークシートの進め方
- オンラインライブセッション：
自己理解ワークのシェア
個別メンタリング
グループコンサルティング
スタディツアーの準備セッション

期間：1週間（3月下旬）

場所：ワシントンDC

- 政策提言について様々な立場から学び、政策を訪問先で発表

- 月1回の社会問題テーマ別お話し会
- 社会課題に関わるグローバルキャリア情報提供（1年目は気候変動）
- 月1回色々な社会問題に関わる人のキャリアトーク
- 月1回の行動宣言と振り返りグループセッション
- その他自由にコミュニティ内でイベント立ち上げあり

年間 スケジュール

6-7月

第0期政策リーダー育成プログラムパイロット実施（1ヶ月）
継続行動オンラインコミュニティローンチ

8-9月

自己理解プログラム0期実施（1ヶ月）

10月

第1期募集

11月

第1期政策リーダー育成プログラム開始（中旬）

12月

第1期政策リーダー育成プログラム実施

1月

政策提言発表と社会実装（企業・自治体連携）

2月

自己理解プログラム1期実施

3月

第1期スタディーツアー実施

0期パイロット詳細 (2026年6月から7月)

オンライン × 国際協働 × 対面実践 (全5回)

① 6月7日(日) (オンライン)
キックオフ・ローンチ
•プログラム説明・全体スケジュール
•気候変動に関する動画視聴
•感想共有・課題意識の言語化

② 6月12日(金) (オンライン)
インド学生との初回交流
•自己紹介
•関心のある環境問題共有
•課題の違い・共通点の理解

③ 6月21日(日) (対面・国際協働)
政策共創ワークショップ (日本+インド)
•グループワーク (6名×5グループ)
(日本人5名+インド人1名)
テーマ例：廃棄物・環境政策
•ごみの発生源・流通・輸出入
•リサイクルの現状
•環境負荷削減 vs 改善アクション
•CO₂排出の構造
→ポストイットを用いた政策アイデア創出

④ 7月2日(木) (オンライン)
中間発表 (政策提言)
•地方自治体・国レベルへの提案想定
•フィードバック・改善

⑤ 7月11日(土) (対面+オンライン)
最終発表・政策サミット
•基調講演 (フランシスコ・ベラ)
•企業・自治体・政府関係者との対話
•政策提言発表
•専門家・フランシスコによるフィードバック

グローバル リーダー育成 ワークショップ 実績

フランシスコ・ベラと
の3日間ワークショップ

コロンビア出身15歳の環境活動家、フランシスコ・ベラをロールモデルに
グローバルリーダーシップ育成ワークショップを3日に渡り実施

	1日目	2日目	3日目
アクティビティ フェーズ	インスピレーション	行動観察	自分にできることの発表
内容	<ul style="list-style-type: none">フランシスコが地元から始めた活動の世界展開までの軌跡を話す	<ul style="list-style-type: none">フランシスコの行動方法を伝授日本ではどのように政策提言ができるのか紹介	<ul style="list-style-type: none">参加者が何ができるか、COP30でどのようなことをフランシスコに提言してほしいかを発表
参加者の学び	同世代のリーダーの行動様式	リーダーシップや課題解決、政策提言方法	フランシスコがフィードバック



コロンビア大統領に署名を渡す



ユニセフの若者気候変動アドボケイトとして
国連の気候変動カンファレンスに参加した話

グローバル リーダー育成 ワークショップ 成果

フランシスコ・ベラと
の3日間ワークショップ

- 満足度：100%が「満足／とても満足」
- リーダーシップ意識の変化：100%が「とても変わった」
- 推奨意向：100%が「このプログラムを他者に勧めたい」
- 課題解決能力：80%が「身についた」
- 政策思考：「移民問題について政策を考え提言したい」

同じようにグローバルに活躍している同年代とつながり、話を聞けるプログラムが欲しいです。

子供、若者目線の考え、希望を提言書などの文書としてまとめたいです。

ユニセフに招待されるような行動力を世界に見せつけていきたいです。

環境問題に対する意識付けや行動に移すことができる人を増やしたいです。

Youth Policy Action Summit について

場所：東京（会場は現在検討中）

日時：7月11日（土）午後13時から17時を予定

プログラム内容：

- 1) 基調講演ーフランシスコ・ベラ
- 2) 国際機関・政府・企業・NGOパネルセッション
- 3) 参加高校生による政策提言
- 4) フランシスコおよび関係者によるフィードバック
- 5) 高校生からの提案を聞いた政府からの見解
- 6) 高校生のアクション宣言
- 7) 閉会

